

## 会長 就任ごあいさつ



公益財団法人神奈川県体育協会

会 長 おおとり 鴻 義 久

この度、平成28・29年度役員改選におきまして、前期に引き続き、会長の職を拝命いたしました鴻 義久でございます。

日ごろから本会の諸事業に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜わり心から感謝申し上げます。また、この2年間、皆様方から心温まるご支援、ご鞭撻を頂戴し重ねて厚くお礼申し上げる次第でございます。

この2年間、事務局組織の強化とともに、「スポーツ仲裁に関する規程」の制定や、本会内に「暴力行為等相談窓口」を新たに設置するなど、本会ガバナンスの向上に向けた取組みを推進いたしました。更に、「神奈川県グラウンド・ゴルフ協会」と「神奈川県日本拳法連盟」の2競技団体の新規加入など加盟団体の拡充、強化にも努めてまいりました。

また、県内での就職を希望している、かながわ育ちのアスリートの就職活動を支援する「かながわアスリート就職支援のための企業説明会」を本年5月20日に開催し、多くの県内企業の皆さまにご参加いただきました。今後とも、県内経済界のご支援を頂きながら就職支援活動の充実に取り組んでまいります。更に、本会の主要施策であります①世界に羽ばたく選手を神奈川から ②スポーツを通じた青少年の健全育成 ③だれでも楽しめるスポーツの推進 ④スポーツと環境 ⑤もうひとつの社会貢献活動 ⑥東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み につきましても、これまで以上に積極的に取り組む覚悟でございます。

本県はスポーツ先進県として、数多くのトップアスリートや優秀な指導者を輩出し競技スポーツに功績を残してまいりました。8月に開催されました、リオデジャネイロオリンピック大会にも本県ゆかりの選手が多数参加されました。そして、いよいよ4年後に迫ってまいりました「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、一人でも多くの本県ゆかりの選手が参加できるよう、これからは正念場ではないかと思っております。

ラグビーワールドカップや東京オリンピック、全国健康福祉祭(ねんりんピック)など、県民のスポーツに対する機運や関心が一層高まる中、神奈川県体育協会は、多くの県民の皆さまがスポーツに親しめるスポーツ環境を更に充実させ、スポーツを振興することで地域の活性化を図り、健康で豊かな人間形成に寄与できる社会の醸成に向けて、会員の皆さまと共に「魅力と活力ある神奈川づくり」を推進していく所存でございます。今後とも皆さま方の変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 理事会・評議員会の主な報告

平成28年度事業計画及び収支予算は、平成27年度第4回理事会（平成28年3月12日（土）開催）での審議を経て、平成27年度臨時評議員会（平成28年3月26日（土）開催）において承認されました。

また、平成27年度事業報告及び決算報告は、平成28年度第1回理事会（平成28年6月4日（土）開催）での審議を経て、平成28年度定時評議員会（平成28年6月18日（土）開催）において承認されました。

なお、本年度は公益財団法人への移行後初めての役員、評議員の同時改選期でした。新役員は、平成28年度定時評議員会において選任され、その後開催された、平成28年度第2回理事会（平成28年6月18日（土）開催）において、それぞれの役職が決まりました。

また、新評議員については、平成28年度第1回評議員選定委員会（平成28年6月9日（木）開催）において選任され、平成28年度定時評議員会において報告されました。

## 平成28・29年度 役員

名誉会長	山下泰裕		
会長	鴻義久		
副会長	堀川博美	河原智	羽田慎司
専務理事	小野力		
理事	吉田秀志 半田真一郎 塩谷和雄 藤井妙子 関口美恵子 皆川敏明 林良雄 牛島秀保 小澤秀樹 横川秀男	日下啓二 山室ひとし 枝迫興一郎 小此木雪枝 坂本紀典 川上宏 石塚拓雄 吉松徹 安倍正弘	鈴木一真 大野三義 諸井孝子 泉水幸寿 宮澤一義 石渡重雄 露木ひろみ 野田晶一
監事	不破伸二	清水明	井出ひろみ

平成28年度～31年度 公益財団法人神奈川県体育協会 評議員

No.	団体名	評議員名
1	野球連盟	丸山 隆
2	(一財)陸上競技協会	金澤 健敏
3	(一財)バレーボール協会	百瀬 賢
4	ソフトテニス連盟	増田 大吾
5	テニス協会	笠野 順一
6	卓球協会	永島 猛
7	(一社)バスケットボール協会	河内 健一
8	(一社)水泳連盟	高橋 憲司
9	体操協会	本間 幸一
10	(公財)スキー連盟	山田 力
11	(一社)サッカー協会	城 啓二
12	バドミントン協会	木下 洋一
13	ハンドボール協会	木村 奨
14	自転車競技連盟	山上 義明
15	ラグビーフットボール協会	三浦 幸宏
16	ウエイトリフティング協会	後藤 直樹
17	ホッケー協会	竹内 芳郎
18	弓道連盟	細田 悦朗
19	レスリング協会	鴨志田 誠
20	柔道連盟	松崎 勝美
21	相撲連盟	高橋 浩
22	セーリング連盟	藤田 時彦
23	(公社)馬術協会	柏木 公平
24	ボクシング連盟	山本俊太郎
25	ソフトボール協会	岡本 進
26	フェンシング協会	大岡 充春
27	(NPO)ボート協会	吉田 宗紀
28	(NPO)ライフル射撃協会	廣田 眞作
29	(一社)クレ射撃協会	熊山 幸男
30	スケート連盟	塚越 富夫
31	剣道連盟	澤部 哲矢
32	山岳連盟	水島 彰司
33	銃剣道連盟	坂田安太郎
34	カヌー協会	加藤俊一郎
35	空手道連盟	秋山 聡
36	なぎなた連盟	倉又 明美
37	アーチェリー協会	関 政敏
38	ボウリング連盟	永野 勇
39	アイスホッケー連盟	金子 精司
40	ゴルフ協会	加藤 聡
41	野球協会	大場 翔太
42	ゲートボール連合	高橋由起子
43	少林寺拳法連盟	古川 真澄
44	パワーリフティング協会	佐野 博
45	スキューバダイビング協会	石坂 康行
46	(NPO)武術太極拳連盟	助川 敏一
47	トライアスロン連合	奈良島信泰

No.	団体名	評議員名
48	跆拳道協会	須藤 賢一
49	オリエンテーリング協会	佐藤 信彦
50	スポーツチャンバラ協会	平田 純生
51	合気道連盟	武田 聡
52	エアロビック連盟	平野 智子
53	ダンススポーツ連盟	須田 幸彦
54	グラウンド・ゴルフ協会	臼井 清
55	日本拳法連盟	金児 浩志
56	高等学校体育連盟	高橋 博之
57	中学校体育連盟	小菅 隆行
58	小学校体育研究会	鈴木 和裕
59	(公財)横浜市体育協会	尾島 良一
60	(公財)川崎市スポーツ協会	和田 成基
61	(公財)相模原市体育協会	樋川 芳雄
62	横須賀市体育協会	柏木 雅一
63	平塚市体育協会	阿部 博
64	鎌倉市体育協会	加藤 清和
65	藤沢市体育協会	武井 英雄
66	(公財)小田原市体育協会	本多 高弘
67	茅ヶ崎市体育協会	石田 洋史
68	(公財)逗子市体育協会	福本 藤彦
69	三浦市体育協会	出口 雅史
70	(公財)秦野市スポーツ協会	齋藤 雅裕
71	(公財)厚木市体育協会	高橋 保
72	大和市体育協会	古谷田 力
73	伊勢原市体育協会	中村 孝一
74	海老名市体育協会	塩脇 照久
75	座間市体育協会	沖本 浩二
76	南足柄市体育協会	池田 和男
77	綾瀬市体育協会	新倉 賢一
78	葉山町体育協会	新倉 利勝
79	寒川町体育協会	島田 哲夫
80	大磯町体育協会	藤田 裕和
81	二宮町体育協会	室伏 正昭
82	中井町体育協会	植木 清八
83	大井町体育協会	夏苺 静男
84	松田町体育協会	吉田 信男
85	山北町体育協会	加藤 有二
86	開成町体育協会	齋藤 雅也
87	箱根町体育協会	阿部 佳信
88	真鶴町体育協会	小松崎和夫
89	湯河原町体育協会	河野 智
90	愛川町体育協会	齋藤 増雄
91	清川村体育協会	大矢 正
92	学識経験者	青田 正順
93	学識経験者	日比野幹生
94	学識経験者	橘高 靖子

\*No.54「グラウンド・ゴルフ協会」、No.55「日本拳法連盟」の任期は平成27～30年度

## 平成28年度公益財団法人神奈川県体育協会 基本方針・重点施策

### 【基本方針】

スポーツを通じ、活気にあふれ、豊かな人間形成ができる社会、だれでも、どこでも、いつまでも、性別や年齢、障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者までのだれもがスポーツに参加し、楽しめる社会の実現を目指します。

そのため、県内スポーツ団体との緊密な連携の下、スポーツを振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の養成に寄与するための諸事業を積極的に展開していきます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、本県全体として盛り上げていく取り組みを推進していきます。

### 【重点施策】

基本方針に基づき、加盟団体、県教育委員会及び関係機関と協働し、次の施策を重点的に進めます。

#### 1 世界に羽ばたく選手を神奈川から

(1) かながわ・ゆめ国体を契機に培ってきた競技力向上対策のシステムを継承し、加盟競技団体や医科学支援スタッフなどが連携して、選手の発掘・育成・強化を推進し、第71回国民体育大会での上位入賞を目指し、神奈川県選手団を派遣します。

- ・選手強化事業
- ・スポーツ医科学振興事業
- ・国体コーチ等派遣・研修事業
- ・国体派遣事業 等

(2) 将来性のあるジュニア選手を発掘し、その個人に応じた一貫指導を継続的に実施できる体制の確立を支援し、ジュニア選手の発掘、育成の一層の充実を図ります。

- ・ジュニア選手強化事業
- ・一貫指導体制モデル事業 等

#### 2 スポーツを通じた青少年の健全育成

スポーツを通じて、子どもたちが仲間や指導者と交流することによりコミュニケーション能力を育成し、自己責任やフェアプレーの精神を身につけ、他人に対する思いやりや多様な価値観を認めあう豊かな心を育み、国際的な友好と親善に貢献できる人間形成を目指します。

- ・スポーツ少年団の運営
- ・第15回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会の開催
- ・指導者、リーダーの養成・育成事業 等

### 3 だれでも楽しめるスポーツの推進

県をはじめとし、関係機関と連携してだれでも、どこでも、いつまでもという「Sports For ALL」（スポーツのユニバーサルデザイン化）を推進します。

- ・スポーツ教室の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- ・高齢者、障害者の競技会等の支援
- ・国際スポーツ交流の促進
- ・レクリエーション協会等との連携 等

### 4 スポーツと環境

スポーツと環境かながわ宣言にもとづく行動と実践を推進し、美しく豊かな自然との共存を目指して、神奈川の素晴らしい環境を次の世代に残すため、Reduce、Reuse、Recycleを念頭に環境に優しいスポーツ活動を推進します。

- ・「スポーツと環境」についての啓発活動など他の関係機関との連携 等

### 5 もうひとつの社会貢献活動

「もうひとつの社会貢献活動推進部会」を中心に、スポーツのさまざまな場面を活用した社会貢献活動への取り組みを進めます。

- ・ いじめ防止ポスターの作成・配布や、いじめ防止横断幕を加盟団体が開催するスポーツ大会等の会場に掲示して啓発するとともに、指導者が啓発活動を行うなど、スポーツのさまざまな場面を活用して「いじめ防止」の意識づくりに取り組みます。
- ・ かながわアスリートネットワークと連携して、県民のスポーツ振興に貢献します。

### 6 スポーツ振興を図るための諸事業

- (1) 県立スポーツ会館をスポーツ振興の拠点施設として管理運営します。
- (2) 公益財団法人として神奈川県体育協会の適正、健全な業務運営に努めます。
- (3) スポーツ安全協会の業務を受託し、スポーツ安全保険業務を通じてスポーツ活動及び社会教育活動の普及奨励を行います。
- (4) 機関誌「スポーツ神奈川」の発行やオフィシャルウェブサイトなどを通じ、県体育協会の施策と事業を総合的に広報し啓発します。
- (5) ゴルファー募金の募金活動を推進し、募金を青少年スポーツ振興、スポーツ医科学、社会貢献事業などに有効活用します。

### 7 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み

県で策定した「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020」に掲げられている「神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み」に沿って、「神奈川育ちのオリンピック」の出場を目標に、有望アスリート及び指導者等に支援を行うとともに、スポーツ団体の組織強化やボランティアの育成等に取り組みます。また、事前キャンプの誘致活動などについても、県、市町村や加盟団体等と連携・協力していきます